

魔法処女☆えるぞ (30)

作・坂本鈴

【登場人物】

えるざ (30)	…… 隠れ魔女。
とんび (25)	…… あすなるの弟。飛行機の整備士。
あすなる (30)	…… 絵描き。
りつきー (35)	…… とんびの先輩。飛行機の整備士。
ばんち (32)	…… パンやの店長。
まあむ (20)	…… バイト。実は魔女。
くろわ (28)	…… 店長の奥さん。
るびい (25)	…… バイト。受付。とんびの同級生。
みかづき	…… 猫。えるざの相棒。
まんげつ	…… 猫。
しんげつ	…… 猫。

暗闇。

えるざ声　ねえ、ラジオつけて。

みかづき声　えー。

えるざ声　いま手ふさがってるの。

みかづき声　もー。

ルージュの伝言が流れる。

明かりがつくと、ほうきに乗ってる飛んでるえるざと猫、みかづき。

そこに、先輩の魔女のリリがほうきに乗ってやってくる。リリ、猫のぬいぐるみを肩にのせている。

先輩　魔女ツコさん？

えるざ　え、はい。え、魔女っこさん？

先輩　うん。

えるざ　あああ。

先輩　あー、なんか、久々にあったかも。同業者。

えるざ　わたし、あの、初めてです！

先輩　え、そうなの？

えるざ　はい！！

先輩　はー、もはやあれだね、絶滅危惧種みたいだね。

えるざ　そうですね。あの私、えるざっていいです。こっちは猫のみかづき。

みかづき　みかづきです。

先輩　こんにちは。わたしはリリ。こっちは猫のララ。

みかづき　こんにちは。

ララ　……（ぬいぐるみなので）。

先輩　ちよっと、ララ。

みかづき　ちえ、きどってやーんの。

えるざ　ちよっと。

先輩　ごめんね、人見知りで。

えるざ　いえ。あの、わたし、今日旅立ちなんです。

先輩　え、まじで。そうなんだ。じゃあ、13歳。

えるざ　はい。

先輩　わっか。

えるざ　やっぱり大変ですか。新しい街。

先輩　あー、まあ落ち込んだりもしたけど、わたしは元気、だよ。

えるざ　そっかあ。

先輩　でもさ、そろそろ卒業しようとおもうんだよね。

えるぎ 魔女ですか。

みかづき 魔女って言うか処女でしょ。

えるぎ ちよつと。

先輩 そうそう。魔女っていうか、処女。

みかづき 20歳過ぎて魔女とかやばいもんね。

先輩 そうなんだよね。えるぎちゃんはさ、ぶっちゃけいつセックスしたい？

えるぎ え、

みかづき どうなの。

えるぎ え、いつってわかんないんですけど、まあ、20歳くらいまでには、普通の女

の子になりたい、みたいなきもちはあるって、

へええええ。

なによ。

べつに。

先輩 まあやっぱ10代のうちってのはあるよね。

えるぎ そうですよ。

先輩 20歳過ぎて魔女とか、もう人にいえないもんね。

えるぎ ですね。20歳すぎると、みんな隠すっていいますもんね。

先輩 きいたことある。隠れ魔女でしょ。

えるぎ そうですそうです。

先輩 そうはなりたくないよね。

えるぎ ですよ。

先輩 でもさ、セックスの後、魔法きえちゃうのってさ、どういう感じなんだろうね。

えるぎ だんだん、使えなくなるんですかね。

先輩 すばって使えなくなるのかも。

えるぎ どうなんですかね。

先輩 どうなんだろうね。

みかづき ていうかさ、どこまでしたら魔法きえるの？

えるぎ え。

先輩 あのね、Bはね、大丈夫みたい。

みかづき B.C.

先輩 なんか、ちゅーとか、べろちゅーとか、胸さわられたりとか

どこからともなくあえぎ声。

みかづき へー

先輩 あとね、指はね、いれられてもだいじょうぶなんだって。

あえぎ声、増えていく

えるぎ、ぐらぐらする。

みかづき

ちよつと、あれ

先輩

だからやっぱり、最終的には

あえぎ声、更にふえていく

えるぎ、いつそうぐらぐらする。

みかづき

ちよつと、えつちゃん、興奮しすぎ!!!!

先輩

え、あ、大丈夫?

えるぎ

え、あ、はい、あ、あああ

えるぎ大丈夫じゃない。

先輩

え、ちよつと、ええええ??

えるぎ

ああ、や、あ、だ、だめ……

えるぎ、喘ぐような声で墜落していく。

大きくなる沢山のあえぎ声と共に、音楽が消えて暗くなる。

暗闇の中、ひと組の男女のあえぎ声だけが残る。

男の子がイキそう。

あ、いい、あ、あああ、あ

あ、やつべ、もう、いきそ、いく……あ、いくよ!!!

(何かに気がついて)うああああ!!!駄目駄目!!!

え、あ……

駄目!!!帰ってきた!!!

え、ちよ……あつ(イツちやう)

……おい。

だって

も、これ、もー

いや、だって

男女男女男女男女男女男女

玄関の鍵の音

男女

ああ、もういいやいいや。かえつて。早く。ええええ。

ドア開く音。電気つく。
そこには猫のみかづき。電気をつけたのはえるぎ。酔っぱらっている。

えるぎ ただいま。

みかづき おかえり。

えるぎ ……。

みかづき なに

えるぎ なんか、音してたけど。

みかづき あ、なんか、たいそうしてた。

えるぎ ン？

みかづき たいそう。

えるぎ ン？

みかづき たいそう。

えるぎ たいそう？

みかづき たいそう。

えるぎ ふーん。

みかづき ……。

えるぎ ちよつと、そこどいてみ。

みかづき え、なんで

えるぎ なんでも

みかづき どきたくないなー

えるぎ えい（魔法でだして）ご飯あるよ。

みかづき お腹すいてない。

えるぎ ふーん。えい（魔法でねこじやらし）ほらほらほら（じやらして）えーい。

みかづき ああああああ（じやれついでしてしまう）

えるぎ はい、これなーんだ！！

みかづき いや、

えるぎ これはなんですか。これ。この液体。

みかづき いや、あの

えるぎ ……。

みかづき ……。

えるぎ もうさあ、もうしないっていったじゃん。ここはやめてっていったるじゃん。

みかづき はい。

えるぎ やるなどはいわない。やるなどはいわないよ。でもね。でもさ、シェアしてわ

けじゃん？ルームをさ、ルームシェアしてるじゃん？

みかづき はい。

えるぎ でき、そんなときにさ、きめたじゃん？ごはんのごとと、ユシのごとと、男のこ

とどさ、

みかづき はい。
えるぎ なんて破っちゃう？
みかづき 我慢できなくて？
えるぎ 外でいいじゃん！
みかづき 雨のときとか。
えるぎ 晴れてんじゃん。
みかづき さむいしき。
えるぎ がまんしろよ。
みかづき うん。いや、でもさ
えるぎ うん。いや、でもさ
みかづき なにさ
えるぎ 今日は、誕生日だし、かえらないかもっていつてたし
みかづき かえらなくても、やめてもらっていいですかー。
えるぎ ていうか、きいていい？
みかづき なにを
えるぎ 大変ききずらいんですが
みかづき なに
えるぎ 大分酔っぱらってらっしゃるようすし
みかづき 酔ってないけど。
えるぎ なんてかえってきたの。
みかづき ほうきで。
みかづき いや、手段の話じゃなくて、…箒で？？？？
えるぎ 箒で帰ってきました！
みかづき なんて？？
えるぎ 箒で！！
みかづき うん。もうそれいい。
えるぎ しかも途中2回墜落しました！
みかづき えー、だめじゃん。
えるぎ うん。駄目だね。やっぱブランクあるとさ。
みかづき え、てか何、なんなの。なんで箒なんかにのったりしたのさ。
えるぎ べつにいいじゃん。
みかづき よくないじゃん。ばれるじゃん。
えるぎ ばれてもいいもん。
みかづき よくないでしょ。
えるぎ ばれていい。もう一生処女でいい。
みかづき でた。でたよ。もう、なに、どうしたの。どうしたのさ。
えるぎ ……た。
みかづき ん？
えるぎ ぷられた。

みかづき まじで。

えるぎ 彼女いた。

みかづき ありやー・・・

えるぎ だからさ、もう私。明日箒で出勤しようかとおもって。

みかづき えっちゃん。

えるぎ 箒で空飛んで出勤してやろうとおもって。

みかづき えっちゃん。

えるぎ 箒にまたがって飛ぶ30歳の魔女ツコをみて町中を震え上がらせてやろうかと

おもって。

みかづき えっちゃん！！

えるぎ だって。

みかづき 考えて。30で魔女ツコとかみんなにばれたら、処女捨てるとかホント無理だよ。一生魔女で一生処女だよ。いいの、それで。

えるぎ ……

みかづき いいならいいよ。でも、いいの。それで。

えるぎ よくない。

みかづき 帰りはみられなかった？

えるぎ 多分。暗かったし、

みかづき 大丈夫そう？

えるぎ それは、うん。

みかづき セーフ、セーフだよ、えっちゃん。大丈夫。次。次いこ。しまっていこー。

えるぎ みーちゃん、ないの。出会いなんてそうそうないの。

みかづき あるよ。あるある。探せばあるよ。

えるぎ どこに。

みかづき 公園とか。

えるぎ 猫はね。

みかづき まあね。

鳩時計。

みかづき 誕生日、おめでとう。

えるぎ 処女、魔女ツコ、30。

みかづき ま、まあさ、地道にいこうよ。

えるぎ 一生こうなのかな。

みかづき まあでもまだチャンスはあるよ。

えるぎ そうかな。

みかづき そうだよ。だからさ、やけにならないで。ね。

えるぎ うん。

みかづき

よし。

えるぎ

おふる入るわ。

みかづき

うん。私ちよつと出かけていい？

えるぎ

こんな時間に。

みかづき

ちよつと、つづき。

えるぎ

ん？

みかづき

いってきます。

えるぎ

気をつけてね。

みかづき、去る。

えるぎ

あー、えっちしたい。

音楽。

猫たちがなだれ込んでくる。

交尾のダンス。それぞれ絶頂

「いっっちゃう」

「いっっちゃう」

「いっっちゃう」

次第に人間になっていく。

「いってきますーす」

出勤する人々。行進する。

行進、改札をぬけて、駅のホームになる。

電車到着。電車に乗る人々。電車を降りる。雑踏。

雑踏がはれると、そこはパン屋さんのバックヤード。

ぱんち、るびい、まあむ、くろわが話している。

そこにえるぎ。

えるぎ

おはよーございまーす。

一同、えるぎを見る。

えるぎ

なに、どうしたの。

るびい

えるぎさん、魔女ツコだったんですね。

えるぎ

え？？

るびい

箒で空飛んでたんですね。

えるぎ

え。あ、え？

ぱんち

あー、今な、えっちゃんがむかし箒で空飛んで出勤してたって時のことはなしてたのよ。

えるぎ

え、あ、むかしね。むかし。10年くらい前ね。

くろわ

配達もしてたのよね。パンの。

えるぎ

むかしね。

るびい

すごいですよね。

えるぎ

すごくないよ。昔だし。て、なに、なんでそんな話になったの。

まあむ

なんか、昨日魔女ツコが出現したらしくて。

えるぎ

え。

くろわ

ほうきにのってとんでたんだって。

えるぎ

へえー。

まあむ

噂ですけどね。

るびい

でもネットは炎上してましたよ。

くろわ

ああ、マジヨ宅ね。

えるぎ

マジヨ宅？

るびい

魔女のオタクのひとたちで、通称マジヨ宅っていわれてるんですけど

えるぎ

へえ。

くろわ

スポーツ新聞にも出てたのよ。「新人魔女上陸か！？」

えるぎ

へえ。

ぱんち

で、もしほんとに新人魔女が上陸してたんだたらさ、えっちゃんときみたい

えるぎ

えー。

ぱんち

売り上げのびかなくてさ。

えるぎ

それはパンでどうにかしなよ。

くろわ

あたしも今同じコト言ったとこ。新作パン今全然出てないし。

ぱんち

あー、味は悪くないと思うんだけどな。にしんパン。

るびい

え、えるぎさんって、え、住み込んでたんですか。

えるぎ

え、うん。

るびい

店長んちに？

ぱんち

親父の代のときな。

るびい

やらしい。

ぱんち

やらしくねえよ。子どものときだぞ。

るびい

子どもの時って

えるぎ

13のときからだから

るびい

めっちゃやらしいじゃないですか。

ばんち えー

るびい くらわさん、いいんですか。

くろわ まあ、結婚する前はね、お互い色々あるわよね。

るびい 大人。

ばんち いや、俺は別になんもねえし。

えるぎ 私も何もないからね。

くろわ うんうん。

ばんち いやいや。

あー、でもえるぎさんが飛ぶのみたかったなあ。魔女とかみたことないですもん。

テレビでは、たまに見ますけどね。

るびい だよ。箒で飛ぶとか、もうテレビの世界だよ。

まあむ ですよ。

ばんち でもまあ、新人魔女がさ、この町にきたっていうならさ、みれるかもじゃん。

るびい そっか。えー、なんか、テンションあがっちゃうなあ。

えるぎ あ、ばんち、時間。

ばんち お、仕事すっか。

全員 はい。

全員持ち場へいく。

みかづき てわけで、この前またばれたから、ほんときをつけてもらっていい？

猫1 うん。

猫2 でもそんなにあれなら、俺ら別に外でもいいけど。ねえ？

猫1 まあね。

猫2 おちつかないし。

みかづき ばっか。もー、ばっか。それが……！それがいいんじゃないか。そのおちつかない

さが。そのスリルが……!?？わかんない？

猫1 え、あ、そっち？なに、そういう系？そういうプレイ??

みかづき まあそうね。

猫2 なんか二人とも大人だね。

猫1 でもなまじしやべれると大変だね。言い訳しなきゃだもんね。

みかづき そうそう、いいわけとかね、論争とかね。それは大変。

猫1 やー、でもやっぱうらやましいけどな。飼い主としやべれたらいいなっておも
うもん。

みかづき そう？

猫1 うん。お腹すいたとか、身体洗ってとか、これ不味いとか、寒いとか、遊んで
とか、わかんないじゃん。それやっぱ、大変だし。

みかづき そっか。そういわれると、そうか。そっか。

猫2 そうだよなあ。俺も飼い主魔女ツコで会話できたらな、っておもうもん。

猫1 そうだよな。

猫2 うん。

みかづき まあ魔女ツコっていつても30だけどね。

猫1、2 え、30？

みかづき やばいでしょ。びっくりでしょ。

猫1 あーうん、そうだね、ちよつとびっくり。

るびいとえるぎとまあむが、パンやの売り場へ。

るびい やー、でもほんとびっくりしました。えるぎさん、魔女ツコだったんですね。

えるぎ いや、まあだから元ね、元。

猫1 現役でしょ。

みかづき 現役だよ。

るびい いつまで魔女つこだったんですか。

えるぎ 20歳のとき。

みかづき でも20歳で、魔女じゃなくなったことにしてるから。

るびい、猫1、2 へえー。

るびい やっぱり20歳くらいなんですな。

みかづき やっぱり30で魔女とか言えないからさ。

えるぎ そうだね。だいたいみんな、それくらいかな。

るびい そうですよ。20歳すぎて処女とかちよつとアレですもんね。

猫1 確かに、30で魔女とかアレだもんな。

声 デニッシュあがったよー

まあむ はい

まあむ、去る。

るびい でもあれじゃないですか。まあむちゃんって、処女っぽくないですか。

えるぎ あー。

るびい
恋バナとか全然乗ってこないし
そうだね。

えるぎ
るびい
恋バナしない女子とか何話していいかわかんないですよね。
あー、ね。

みかづき
猫2
でき、見栄っ張りだからさ、もう嘘つきまくりなわけよ。
嘘？

るびい
ちなみにえるぎさんは今日もデートですか。
あー、うん。

みかづき
猫1、2
カレシ居るとか、デートいくとか。
あー。

猫2
みかづき
猫1、2
そういうながら女同士でスポーツジムとかに行くわけよ、
それなんか、もてないスパイラルしてるかんじがするね。
ね。じゃあ、今日はどっちからする？
にゃあ！

るびい
いいなあ。
いやいや、あははははは

そこは、スポーツジム。

えるぎ
あすなろ
あー……。
なに、もうばてた？
あー、うん。最近ちょっとさぼってたから。
わたしも。

えるぎ
あすなろ
忙しかったんだっけ。
そうそう展覧会と個展とコンクールともう全部かぶっちゃってさ。修羅場だった。
売れっ子。

えるぎ
あすなろ
売れてないよー。出て行く一方だよ。しかもその間バイトもできないからさ、
時間もお金もないっていうね。もう30代にあるまじき状況だよ。
でもがんばってるよね。

えるぎ
あすなろ
いや、もうこれしかやってきてないからね。しょうがないんだよね。
えー。

えるぎ
あすなろ
まあとにかく一段落したからさ、遊びに行くよ。
マジで？じゃあ鍋しよーよ。鍋。

あすなる 鍋いいねえ。

えるぎ 無敵だよね。鍋。私最近ずっと鍋。

あすなる え、なに、ひとりで？

えるぎ え、あー………色々？

あすなる 色々？

えるぎ 色々？

あすなる 相変わらずだね。

えるぎ いやあ。で、え、そっちはどうなの。

あすなる え、わたし？わたし処女膜再生しそう。

えるぎ えーなにそれ、進展しないの。なんだっけ。同窓会であった…

あすなる あー、あれかー、あれね、終わった。

えるぎ 終わった？？

あすなる うん。でもいいんだ。わたしいま、年上にぞっこんだから。

えるぎ え、なにそれ。

あすなる 最近会ったひとなんだけどね。

えるぎ え、いや、でもあれじゃない。ペース早くない？

あすなる うん。いまね、ちよつとあげてるの。

えるぎ ペース？

あすなる うん。なんていうかさ、短距離走だと思っただよね。ここからは。

えるぎ っ？

あすなる 大人の恋はさ

えるぎ 短距離走？

あすなる 一途に片思いとかさ、30歳がやるとき、もう怖いじゃん。重いし。

えるぎ まあね。

あすなる 持久戦にもちこんでもさ、もうさ、無いじゃん、時間が。

えるぎ 30だしね。

あすなる そうそう。だからこう、駆け抜けないと。もったいぶってられないなっ

て。

とんび ねーちゃん。

そこにとんび。

あすなる あ、

あすなる。とんびの所へ行く。とんび、あすなるに財布をわたす。

とんび

はい、

あすなる　ごめーん。
とんび　それ鍵も入ってるんだからさ、
あすなる　そうだよね。
とんび　財布無くても家は入れないとかもう絶望的だよ。
あすなる　だからごめんって。
えるぎ　あ、の
あすなる　あ、これ、弟、覚えてる？
えるぎ　だよねえ？
とんび　え、あれ、えるぎさんすか？
えるぎ　てか、おつきい。え、なに。だってこんなだったじゃん。
とんび　そんなことないっすよ。
えるぎ　どしたの、今日。
あすなる　ちよつと財布わすれてさ。
とんび　ほんとなんでも忘れるんすよね。
あすなる　だからごめんって。ジュースおこるよ。
とんび　いらねえよ。
あすなる　遠慮すんなよ。えるぎもなんかいる？
えるぎ　ううん。大丈夫。
あすなる　ちよつとまってる。
とんび　だからいいって。

あすなる、去る。

とんび　もー、なんなんすかね、あれ。
えるぎ　喉かわいてんだよ。自分が。
とんび　てか、あれっすね。かわんないっすね。
えるぎ　そう？
とんび　はい。
えるぎ　とんびは何、いま何やってんの。
とんび　整備士です。航空機の。
えるぎ　ちゃんとしてんね。
とんび　あー、でもあれっすよ。えるぎさんの影響っすよ。
えるぎ　え。
とんび　かっこよかったっすもん。ほうきで飛ぶの。
えるぎ　いやいやいや、
とんび　ほんとですよ。俺、だいぶ懂れてましたもん。
えるぎ　えー。いや、いいしそういうの。
とんび　ほんとですって。あ、連絡先、教えてもらってもいいですか。

えるぎ
え。いや、いいけど。
とんび
こんど飯とかいきませんか？
えるぎ
え、うん。
とんび
あ、今ありますか？（携帯）
えるぎ
あ、うん。

えるぎとんび、赤外線通信。

とんび
じゃあ、さそいますね。
えるぎ
うん。

えるぎ
っていうのはさ、もうさ、どういうことなんだろうね。

そこはえるぎの部屋。とんびの人形がある。

みかづき
どうって。
えるぎ
だってさ、なんか、こう。こう。
みかづき
え、なに、ふつうじゃないの。
えるぎ
ふつうじゃなかった。ふつうじゃなかったよ。だって、こう。こうだよ。
みかづき
うん。それでさ、なにこれ。
えるぎ
ん。

これ。

なんか、まあ、具現化した方が、わかりやすいかなっておもって

えっちゃん。

なに

気持ち悪い。

なんでよ。

しまつてよ、これ。こわいよ。

だいじょうぶだよ。

いやいや、だってなに、抱いて寝るき？

そういうわけじゃないけど。

抱いて寝る気？

やー、でも必要だとおもうんだよ。

なにが。

練習？

練習？

練習しとかないとき、いざってときさ、いざってときね、対応出来ないと思うんだよね。

みかづき いざつてときー？

えるぎ だって、ほら処女だからさ、びつくりしちゃうじゃん。いろいろ。だからなん

みかづき か、こうやって、なれとこうかな、みたいな。(さわって、ふふふってわらう)

えるぎ もつかいいっていい？きもちわるい。

みかづき きもちわるくないよ。

えるぎ いや、きもちわるいよ。

みかづき きもちわるいかもしれないけど、切実なの。わたし、切実なのよ。土壇場で処

女じゃんとかってなったらさ、アウトなわけよ。わかる？

みかづき でもこないよ、その土壇場。

えるぎ くるよ。

みかづき きたことないじゃん。

えるぎ きたことないけど、今度はくる。ていうか来させる。来させてみせる。

みかづき お、なんか気合い。

えるぎ 大人の恋はね短距離走なんだって。

みかづき 短距離走？

えるぎ 時間がないの。たらたら走ってる場合じゃないの。私ね、気付いたの。もうそ

みかづき んな暇はないんだって。

えるぎ まあね。もう30だからね。

みかづき わかってるよー！だから今回は、なにがあってもやってみせる！魔女も処女も、

とんびで卒業してみせる！

えるぎ え、で、どうすんの。

みかづき 魔法をね、使っちゃおうかなって。

えるぎ え。

みかづき うん。

えるぎ 魔法？

みかづき うん。

えるぎ それはさ、懲りたんじゃなかったの。あの、ばれそうになったとき。

みかづき うん。でもさ、懲りてる場合じゃないって言うかさ、もうさ、無いんだよね。

えるぎ 武器が。みんなのもってるやつが。

みかづき みんなのもってるやつ？

えるぎ つちかかってきた経験とか。体験とか。

みかづき あー。

えるぎ ゼロだからさ。まっさらだからさ。

みかづき うん。

えるぎ だからね、これしかないなって。

みかづき 具体的なプランはあるの？

えるぎ 例えば、突然、雨！私傘もってるよ！相合い傘、とかね。ウエイトレスさんの

珈琲がバシヤ！あ！うち、すぐだから、よってって、とかそして、土壇場に、

もちこむ！みたいな。
なるほど。

みかづき
えるぎ

みかづき
えるぎ
どうかな。

みかづき
えるぎ
まあね。

みかづき
えるぎ
このまえ箒から落ちたじゃん？

みかづき
えるぎ
ブランクあるからね。

みかづき
えるぎ
つかえるの？

みかづき
えるぎ
そこなんだよね。

音楽。

しんげつとまんげつとみかづき。

猫
で？

みかづき
練習してる。

猫
土壇場の？

みかづき
魔法の。

猫
魔法の？

魔法の練習をするえるぎ。

猫
魔法の練習って何すんの。

みかづき
ほうきにのるとか

猫
ほうきにのる。

えるぎ、箒に乗る。

みかづき
天気を晴れさせるとか

猫
天気を晴れさせる？

えるぎ
えい

人々
はれた！

みかづき
花を咲かせるとか

えるぎ
えい。

桜が満開になる

あらた あ
人々 おおおお。

ニュースキャスター「ごらんください。この季節に満開の桜が出現いたしました」

みかづき 乗り遅れそうな電車を遅らせるとか
アナウンス ♪番線、ドアが開きます。ご注意ください。

えるぎ えい（魔法をかけて、走る）

アナウンス （ドアが開かない）ドアが、ドアが、ドアが……
えるぎ えい。
アナウンス 開きます。

ドアが開く。乗り込む人々。出勤するえるぎ。
と、まだ誰もきていない。

しんげつ 成功率は？
みかづき 五分五分？
しんげつ そっか
まんげつ 最近異常気象だもんね。
みかづき でも昨日は仕事の片付け瞬殺だったらしい。
しん・まん へえ。
みかづき だから、今日は早く行って、準備とか、魔法で全部やっちゃうっていった。
まんげつ ふうん。

魔法をつかうえるぎ。

えるぎ えい

えるぎ、去る。

しんげつ にしても処女必死だね。
みかづき もうホント必死だよ。ちよっと怖いもん。
まんげつ てかさ、なんで処女なの。
みかづき え。
まんげつ ぶす？

みかづき いや、ぶすじゃないとおもうけど
まんげつ でぶ？

みかづき そういってもないんだけど。なんか、なんでだろうね。
しんげつ 必死だから？

みかづき それはあるかも。
しんげつ あー、でもわかるかも、ががつしてるときつてき、結構男子にこわがられな
い？

まんげつ あー、それで、もういいかなーっておもってるけど寄ってきたりね。
しんげつ ねー。

まんげつ なんだろうね。あれ。
しんげつ 余裕、みたいな。

みかづき あー、でもそうかもね。余裕はないわ。
しんげつ へー、余裕のない30歳処女の魔女かー、みてみたいな。

まんげつ わたしも余裕のない30歳処女の魔女みたい。
みかづき まじで？余裕のない30歳処女の魔みにくる？

まんげつ え、いいの？
みかづき いいよいいよ。おいだよ。
しんげつ えー、いくいく

暗転。

明かりがつかくと、パン屋さん。

ぱんち えっちゃん。

えるぎ ……。

ぱんち おねがい、正直にこたえて。

えるぎ ……。

ぱんち ほんとうは、えっちゃんは、いまでもま

えるぎ ちがうよ。

ぱんち ……いまでもま

えるぎ ちがう。

ぱんち ……ま

えるぎ ちがうよ！

ぱんち じゃあ、じゃあなんでパン全部しよっぱいんだよ？！

えるぎ しらない。

ぱんち しらなくないでしょ。全部だよ。クリームパンもあんパンもジャムパンも全部だ
よ。

えるぎ 知らないよ。

ぱんち 知らなくないでしょ。これ、やったでしょ。10年前、親父の時、やってたでし

よ、この失敗。もうね、この失敗ね、ここの中でできるのだからね。えっちゃんしかいないからね。

……。

ばんち
えるぎ
こんな、えー？もうしかもあれだよ。今日で午前中宅配頼まれてる、ウグイスパ
ン、これもう、もうさ、どうすんの

焼き直そうよ。

えるぎ
ばんち
そんな暇ないから。

えるぎ
みんなでやれば

ばんち
えっちゃん。この宅配できないの、本当に困るんだよ。戻せるんだろ。魔法で。

あのときはそうしたもんな。

……。

えるぎ
ばんち
頼むよ。

くろわ
ばんち
ちよつと、まだえっちゃんつてきまつたわけじゃ

ばんち
お前はだまつてろよ。

ばんち、くろわを突き飛ばす。

ばんち
えっちゃん。

くろわ
ちよつとなにすんのよ。

と、突然くろわがキレる。止めようとしてるびいが投げ出され、るびいもキレ
て、大げんかに発展する。まあむ、間にはいつて止める。

まあむ
全員
すいません。それやったの、わたしです。

全員
え

まあむ
今朝、眠くて、

全員
え

まあむ
あんまり覚えがないんですけど、たぶん、無意識に出ちゃったんだと

ばんち
え……なに？

まあむ
実はわたし、魔法使いなんです。

全員
え……？

まあむ
すいません。

全員わたわたする。

ばんち
えつと、え、じゃあ、これ、戻せるってこと？

まあむ
はい。すみません。えい。

みんなで食べる。

ぱんち

あまい。

くろわ

あまい。

るびい

あまい。

ぱんち、くろわ、るびい、感激する。ぱんち、我にかえって。

ぱんち

あ、えっと、じゃあいそいで

まあむ

間に合いますか

ぱんち

まあ、間に合わないけどでも

まあむ

わたし、いってきます。

ぱんち

え。

まあむ

とべるんで。

全員

あー。

まあむ

じゃあ、いってきます。

まあむ、去る。

まあむが飛ぶのを全員見送り、

全員

わーお。

そして、しばし、啞然。

るびい

……まあむちゃん、魔女っこだったんですね。

ぱんち

な。

くろわ

びっくりした。

ぱんち

だな。

えるぎ

魔女っこ……??

ぱんち

えっちゃん、ごめんな、疑って。

えるぎ

え、あ、ううん。

ぱんち

えっちゃんがまだ現役なわけないもんな。冷静に考えればわかることなのに、

えるぎ

ごめん、俺、てんぱって。

ぱんち

いや、うん、大丈夫。

えるぎ

俺、もうびっくりして

えるぎ

うん、もういいから。

るびい

にしてもまあむちゃん、処女っぽいとおもってたけど、まさか

くろわ

噂の新人魔女ってまあむちゃんだったのね。

るびい　　すごいですね。うちのおみせ、元魔女と現魔女。
くろわ　　そうね。

ぱんち　　これって、売り出せねえかな。

ぱんち・くろわ　　え

くろわ　　それは、あれ？元魔女の配達技術を伝授して、現魔女が届ける、みた
いな。

ぱんち　　そう。

えるぎ　　え、いや、あの

るびい　　焼きたてのパンと、ほんの少しの奇跡をあなたに。みたいな？

ぱんち　　それいいな。

くろわ　　それいいね。

るびい　　ほんとですか。

ぱんち　　売り出しちゃうか。

音楽。

ブレイクまあむダンス。

まちのひと　　鳥だ。

まちのひと　　飛行機だ。

まちのひと　　いや、空飛ぶまじよだ。

まあむ　　おとどけにありがとうございました。

まあむ、まちのひとにパンをわたす。

まちのひと　　魔女っ子さん、ありがとう。

わたす。

まちのひと　　今時魔女なんてめずらしいわね。ありがとう。

わたす。

まちのひと　　わたし、ニシンのパン好きじゃないのに。でもありがとう。

わたす。

まちのひとたち　　魔女ッコさん、ありがとう。

くろわ　焼きたてのパンと、ほんの少しの奇跡をあなたに。
るびい　魔女が配達するあなたのまちのぱんやさん。
くろわ、るびい　グーちよきぱんち。

声　はい、カットー

おつかれさまでしたーと、色々出てくる。
そこはスタジオ。

ぱんち　まあむちゃん、おつかれ
まあむ　あ、おつかれさまです。
くろわ　いやあ、もうほんとたすかってるよ。売り上げめっちゃ伸びたし
まあむ　本当ですか。
ぱんち　ほんとほんと。もうまあむさまさまだよ。
まあむ　お役に立ててよかったです。
るびい　もつとはやくいつてくれたらよかったのに。ですよね？
えるぎ　え、あ、うん。そうだよ。
まあむ　いや、でもはずかしくて
るびい　えー？
まあむ　20才で魔法使いとか
るびい　何、ぜんぜんいいじゃん。だって魔法使いなんですよ。すごいじゃん。
ぱんち　そうだよ。だいたい20歳なんてもうね、俺らからみたら、もう、なあ？
えるぎ　え、うん。まあ。。。

声　まあむさん、撮影お願いしマース。
まあむ　あ、はい。

えるぎ以外、みんな、去る。
気がつくと、あすなろが居る。そこはえるぎの部屋の台所。

あすなろ　じゃああれなんだね。えるぎのパンや。魔女二人。
えるぎ　まあ私は元だけどね。
あすなろ　元でもさ。え、なに、偶然？
えるぎ　いや、一応向こうは私のこと知ってて、
あすなろ　そうなんだ。え、ファンだったってこと。
えるぎ　そういうんじゃないけど、まあ、元魔女いるところでバイト募集したら、ま
あ、

あすなろ そんなもん。

えるぎ うん。

あすなろ で、どうなの。

えるぎ え。

あすなろ じゃえらっちゃってんじゃないの。

えるぎ えー、いやそういうわけじゃないけど。

あすなろ いいよいいよ、 अच्छいよ。

えるぎ まあ、思い出しちゃうよね。魔法使ったときのこと。

あすなろ それだけー？

えるぎ あとまあ、……小娘が！みたいなきもちはあるよね。

あすなろ いったー。

えるぎ わたしが初代だぞーみたいな。

あすなろ そうだよな。でもわかるなあ。私も新人がちやほやされてると、なんか色々思

うもん。

えるぎ そうなんだ。

あすなろ うん。でもやつぱり、今の自分だからもってるものがあるわけだからね。って、

えるぎ なんか、納得させていくしかないよね。

あすなろ うん。そうだね。

えるぎ てか、えるぎなんてき、魔女卒業してき、それで恋とか沢山してき、ちゃんと

充実してるんだからさ、もう全然いいじゃん。っておもちちゃうけどね。

えるぎ うん。まあ、そうなんだけどね。

みかづき帰宅。

みかづき ただいまー。

えるぎ おかえり。

あすなろ あ、みーちゃん。

みかづき あ、あすなろ。

あすなろ ひさしぶり、おぼえてる？

みかづき あいかわらずもてなそうだね。えい。

あすなろ なに、あそんでほしいの？

まんげつ、しんげつもぞろぞろと。

まんげつ おじゃましまーす。

しんげつ こんにちは。

えるぎ

え。

あすなる あれ？おともだち？

しんげつ (あすなるに) あ、魔女で処女？

まんげつ え、なに、何で処女なの？

あすなる かわいいー。

みかづき いや、そっちじゃないから。こっち

まんげつ、しんげつ え

まんげつ え、あ、そうなの？

しんげつ あ、魔女で処女？？？

まんげつ 魔女で処女？？？

まんげつ、しんげつ、えるぎに群がる。

あすなる あー、やっぱりえるぎのほうがいいんだね。

えるぎ いや……。

しんげつ 魔女で処女。(ウケる)

まんげつ 魔女で処女。(ウケる)

あすなる いーなあ。

えるぎ ははは……。

あすなる あ。(携帯みて) あー！！

えるぎ え、

あすなる メール来た。

えるぎ え。

あすなる 年上のひと。

えるぎ ええ！！！

あすなる (よんで) なんか、今、みんな飲んでるって。

えるぎ え？

あすなる ……。

えるぎ いってきなよ。

あすなる いい？

えるぎ いいよ。

あすなる ごめんね。

えるぎ いやいや。

あすなる こんどおごる。

えるぎ うん。

あすなる また電話するね。
えるぎ うん。
あすなる じゃ。
えるぎ じゃ。

あすなる、去る。

みかづき なに、あすなる、男できたの。
えるぎ えっと

みかづき あ、ともだち。
しんげつ しんげつです。
まんげつ まんげつです。

みかづき ☹️歳処女の魔女みたいって言うからさ。
えるぎ は？

しんげつ うん。でもわかるかも。

まんげつ あー、ね。

えるぎ なにが。

まんげつ なんか、かわいてる？

えるぎ かわいてる？

しんげつ かさかさしてるね。

えるぎ かさかさ？

みかづき まあセックスしてないからね。

しん・まん あー。

まんげつ まあさ、早くセックスしちやいなよ。

えるぎ そのつもりですけど。

みかづき そのつもりなんだよ。

しんげつ そうだね。それで魔法とかもがんばってんだもんね。

まんげつ でもあれだよな。魔法は今魔女コマあむがきてるよな。

しんげつ あー、最近すごいよね。CMとか。

まんげつ 昼の番組にもレギュラーでしょ。

しんげつ ドラマ化もするんですよ。

まん・しん ねー。

えるぎ わたしだって、若いときは

みかづき えっちゃん、それいいはじめたら泥沼だよ。

えるぎ だって

しんげつ え、でもあれでしょ、魔女で勝負したい訳じゃないんですよ。

えるぎ え。

まんげつ そうだよ。男とやるために魔法の練習してるんですよ。

えるぎ まあ。
しんげつ じゃあ、女として勝てばいいじゃん。
みかづき そうだね。
えるぎ そうか。
しんげつ そうだよ。
えるぎ そうだよね。
みか・まん・しん うん。
えるぎ うん。
まんげつ てかさ、どんな男なの。
えるぎ え
まんげつ そのひと
えるぎ えー、あのね、えい。

とんび人形。でてくる。

みかづき ああああああ。
まんげつ イケメンじゃん。
しんげつ いいじゃん。
えるぎ で、懂れてましたとかいわれて、
まんげつ え??
しんげつ いいじゃん。
えるぎ 今度ご飯行こうってなって。
まん・しん うん。
えるぎ 連絡先交換して
まん・しん うん。
えるぎ それから、連絡なくて
まん・しん あー。
しんげつ でも連絡無いならさ、こっちからしたらいいんじゃないの。
まんげつ そうだよね。
みかづき そう言ってるんだけどね。
えるぎ でも
しんげつ あ、携帯かわいい。
えるぎ え。
しんげつ ちょっとみせて。
えるぎ うん。

しんげつ、電話をかける。

えるぎ わああああああああ

とんぴ あ、もしもし

えるぎ え、あ、え

とんぴ もしもし

えるぎ ああ、あ、ごめんね、電波わるくて

とんぴ ああ。え、どうしました。

えるぎ あ、いやっ…あのっ…ごはんっ…いつ、

とんぴ え？あれ、電波かな。もしもし。

えるぎ はい。もしもし。

とんぴ ああ。あ、あの、えるざさん、来週ってあいてますか。

えるぎ らいしゅう。

とんぴ 土曜日とか

えるぎ あ、うん。

とんぴ あ、あの、よければ、ごはんたべにいきませんか？

えるぎ え、うん。いいけど

とんぴ ほんとですか。じゃあ、どうしようかな。時間とか

えるぎ わたしは何時（なんどき）でも。

とんぴ いきたいとことかありますか。

えるぎ どこへでも。

とんぴ じゃあ、あたりつけて、また連絡しますね。

えるぎ うん。

とんぴ じゃあ。

えるぎ うん。

切る。とんぴ、元にもどる。

えるぎ ごはん、土曜日、たべようって

猫たち、はしゃぐ。

えるぎも混ざり、セックスセックスと盛り上がって去る。

そこはパンや。

るびい あれ？えるざさん、今日めっちゃ気合い入ってますね。

えるぎ え、そう？

るびい はい。デートですか。

えるぎ いや、デートじゃないんだけど。

るびい あ、ですよ。男受けて感じじゃないですもんね。

えるぎ
るびい

え。
男子には、もつと

声

メロンパンあがったよ。

るびい

はーい。

るびい、去る。

えるぎ

え、あ、え??もつと???

お客さんが来る。

えるぎ

あ、いらしゃ・・・

それはとんび。

とんび

あ、どうも。

えるぎ

え、嘘どうしたの。

とんび

仕事で近くまで来たんで、えるぎさん、いるかなっておもってえー。

えるぎ

まだここで働いてたんすね。

とんび

うん。え、てか来たことあったっけ。

えるぎ

中学んときとか。

とんび

そっか。え、買っていく?

まあむ

あー、そうですね。

とんび

何にする?

まあむ

そうですねー、

とんび

え、あ、はい。
うーわ、本物だ。握手してもらってもいいですか。
はい。

まあむととんぴ、握手。

とんぴ え、職場一緒だったんですか。

えるぎ あ、うん。

まあむ あ、お知り合いですか。

えるぎ うん。友達の弟。

まあむ そうなんですな。

とんぴ はい。あ、あの、こんどえるぎさんとご飯たべにいくんですけど、一緒にどうですか。

まあむ・えるぎ え??

まあむ、えるぎをみる。えるぎ、まあむに目配せ。まあむ、了解の様子。

まあむ はい。べつに、時間があえば。

えるぎ、がつくし。

とんぴ ほんとですか。

まあむ はい。

とんぴ よかった。職場の先輩で、すげえ魔女好きなひとがいて、魔女宅とか入ってるひとなんですけど、会わせてあげたいんですね。つれてきてもいいですかね。

まあむ はい。

とんぴ ああ、ありがとうございます。じゃあ連絡先交換していいですか。

まあむ はい。

とんぴ いまありますか。

まあむ はい。

まあむととんぴ、番号交換。

とんぴ じゃあ、連絡しますね。

えるぎ ていうのはぎ、もうぎ、どう、どうということなんだろうね。

えるぎの部屋。みかづきとまんげつとしんげつ。とんぴ人形もある。

みかづき まあ、普通ってこと、だよな。

えるぎ え、こう、これ、これ、普通ってこと??

まんげつ　まあ普通だよね。
しんげつ　普通だね。
えるぎ　普通ね。普通か。
みかづき　ほら、だからいったじゃん。
えるぎ　ごはんいくとも、普通？
しんげつ　あ。その発言処女っぽい。
えるぎ　え
しんげつ　ひゅー☆
まんげつ　まあ、ふつうじゃない？
みかづき　ふつうだね。
えるぎ　そっか。
まんげつ　まあでも、4人でご飯っていうのはさ、別にわるくないよね。
しんげつ　うん。全然いいと思う。バランスもいいし。
みかづき　ああ、そうだね。
えるぎ　え、どういうこと。
しんげつ　にやんにやん（2，2）でくっつけばいいってこと。
えるぎ　にやんにやん？
しんげつ　そもそも、とんびはさ、その、新人の魔女と、自分の先輩を会わせたいとか、
まんげつ　まあ、くっつけたい、とかそういうことなんですよ。だったらいいじゃん。
えるぎ　あー、むしろ逆にいいかもね。
　ぎやくに？
　あっちふたりをくっつけようとして、こっちでにやんにやんしちゃうっていう
　パターンだよ。
　いいねえ。
　みかづき　は、え、なにそれ。
　　えるぎ　たとえば、二人に空中散歩させるとか。
　　　空中散歩？
　　あ、箒にのせてもらっちゃいなよ、みたいな？
　　　そうそう。
　　あー、うん、うん、で？
　　で、ふたりになつて
　　うんうん。
　　その間にセックス。
　　早い！早いよその展開。その展開は早い！！
　　えー、そう？
　　別に行けると思うけど。
　　だってそれ、どこ、どこでするのさ
公園

えるぎ

公園

しんげつ

だめ？公園。

えるぎ

公園は、ちよつと。人間は公園はちよつと。

まんげつ

人間でもしてるじゃん。

しんげつ

してるよね。

えるぎ

うん、でもその人達は、あれだから、上級者だから。

まんげつ

へえ。

えるぎ

はじめてで公園はちよつと。

みかづき

めんどくさいなー。

まんげつ

じゃあラブホは？

えるぎ

ラブホ。

しんげつ

はじめてをラブホって普通だよな。

まんげつ

だよな。

みかづき

うん。どう？

えるぎ

それはながれが。

しんげつ

ながれ？

まんげつ

え、ふたりになれたらからラブホいこ？ってんじやだめなの。

えるぎ

それちよつと、初心者でそれちよつと。

みかづき

えー、じゃあどうすんのさ。

えるぎ

なんか、しぜんな流れで家に来て、とか。

みかづき

しぜんながれー？

しんげつ

あ、じゃああれじゃない？送ってもらったりしたらいいんじゃない？

まんげつ

私酔っちゃった。みたいなやつ？

しんげつ

それそれ。

まんげつ

古典的ー。

えるぎ

ああ、うん。うんでもそれなら。

みかづき

いけそう？

えるぎ

うん。あ、でも、4人いるから、

まんげつ

それはあっちも酔わせちゃえばいいじゃないの？

えるぎ

え。

まんげつ

男の方を酔わせて、まあむに箒で送らせちゃうとかさ。

えるぎ

酔わせるってどうやって？

みかづき

えっちゃん、なんのために、魔法の練習してきたのさ。

えるぎ

あ。

みかづき

魔法でえい、だよ。

えるぎ

そっか。そっか！！えい。

まんげつ

「ぼく酔っちゃった。」

しんげつ

で、ねらってない方の男がそうなって、そこで、まあむが「わたし、箒でおく

「つていきます」つてびゅーんってなって、ふたり。

あ、わたしも、ちよつと、酔っちゃったかも

じゃあ、送りましょうか。

ありがとう。

しんげつ　で、だめ押しで雨とかふらせてき、相合い傘してき、くつつきながら家に帰れ

ばいばいだよ。

えるぎ　相合い傘。

みかづき　僕もつよ。

えるぎ　ありがとう。

みかづき　ぬれちゃうよ。もつとこつちにおいでよ。

えるぎ　ああん。

まんげつ　もうそれからはね。

しんげつ　いわずもがなですよ。

まんげつ　いえについてね。

みかづき　えるぎさん、僕もう

えるぎ　ああ、とんび：：っ！

まんげつ　いいじゃん。

しんげつ　かんぺきじゃん。

えるぎ　：：：：いけるかも。

みかづき　がんばって。

えるぎ　わたし、長めにお風呂入ってくる。

みかづき　うん。わたしもちよつと出かけていい？

えるぎ　え。

みかづき　ちよつと、興奮してきた。

しんげつ　わたしも。

まんげつ　わたしも。

みかづき　あと、もうお互い部屋えつちは解禁だよな。

えるぎ　え、：：：：うん！

みかづき　じゃあいつてきまーす。

えるぎ　きをつけてね。

猫たち、去る。

えるぎ　よし。えつちする。

えつちなダンス。

に、いくとおもいきやの。

転換。

りつきー

あの、今日はありがとうございます！！

ほんと、もう、魔女っこさんにあえて、おはなし聞けて、凄くうれしかったです。ありがとうございます。

まあむ

そんな、こちらこそ今日はごちそうさまでした。

りつきー

いや、もうそんな。

えるぎ

すごくおいしかったです。

とんび

てか僕までごちそうになっちゃって、すみません。

りつきー

いいんだよ。とんびくんは、ほんとこんな機会をつくってくれて。感謝しても

しきれないよ。

とんび

いや、僕は全然。

りつきー

ありがとう。

とんび

ほんと、なんもしてないですから。

えるぎ

まあむちゃん、今日は箸できたの？

まあむ

え、はい。

えるぎ

ご馳走になったお札にさ、りつきーさんのせてあげたら？

まあむ

え？

りつきー

え、いや、そんな。

えるぎ

でも、ご馳走になりっぱなしっていうのも、ねえ。

まあむ

そうですね。こんなんでお札になるなら、ですけど、よければ

りつきー

い、いいんですか。

まあむ

はい。全然。

とんび

わ。すげえ。

りつきー

本当にいいんですか。

まあむ

はい。

りつきー

僕、夢だったんです。

とんび

りつきー先輩、よかったじゃないですか。

りつきー

とんびくん、とんびくんのおかげで、夢が………

とんび

僕は何も

まあむ

そんな、たいそうなあれじゃないんですけど。じゃあ、その辺2、3週して

えるぎ

あのさ、あそこみせてあげなよ。時計台と海がみえるところ。

まあむ

あー、あの景色はたしかに。

えるぎ

今の時間帯ならさ、ライトアップしてるしさ

まあむ

そうですね。じゃあ、いきましようか。

りつきー

え？

まあむ

公園からフライトしますんで

りつきー

あ、はい。じゃあ。

とんび

いってらっしゃい。

えるぎ

ごゆつくり。

りつきーとまあむ、去る。

とんびとえるぎ、ふたりきり。

とんび

今日は、ありがとうございました。

えるぎ

ううん。こっちこそ。

とんび

先輩もめっちゃやるこんでくれて。

えるぎ

よかった。

とんび

あ（とんでる）

えるぎ

あー。

ふたりに手を振る

とんび

先輩、超はしゃいでる。

えるぎ

ほんとだ。

とんび

えるぎさんって、最初に空飛んだとき、どう思いました。

えるぎ

あー。すごーいっておもった。世界ってすごーいって。あと、わたしってすごー

いって。

あーなんか、僕もそうおもった気がします。

え。

とんび

えるぎさんが飛んでるの、初めて見たとき。世界ってすごーいって。あと、あの

えるぎ

ひとすげーって。

とんび

いやいや。

えるぎ

あー、たぶん、それが僕の原点なんですよね。

とんび

原点。

落ち込んだりしてても、もやもやしてても、えるぎさんが飛んでるの見た日

日は、なんか、気が晴れて、わかんないけど、大丈夫っておもえて。今日も大

丈夫って思えて。それから、空ばかりみるようになって、飛行機にも、興味

持つようになって。気がついたらもう飛行機まっしぐらで。

そうなんだ

はい

すごーいね。とんびは。

いやいやいや。てか、空とんでた人に言われても。

えるぎ

いや、わたしはさ、ちゃんと選んできたってわけじゃないからさ。別に好きと

とんび

か、やりたいとか、そういうんじゃないやあんまりなかったっていうか。

とんび

そんなことないんじゃないですかね。

えるぎ

え。

とんび たのしそうでしたよ。飛んでるの。
えるぎ そう？
とんび はい。
えるぎ そうだったかも。
とんび そうですよ。
えるぎ そうか。
とんび あー、なんか、あれですね。ちゃんと話すの、はじめてですね。
えるぎ そうだね。あのさ、また、ご飯とかいこうよ。
とんび そうですね。
えるぎ ……あの、ふたりになれたから、ラ・

もどつてくるりつきーとまあむ。

まあむ ただいま。
とんび あ、おかえりなさい。
えるぎ おかえり。
とんび どうでした。
りつきー 感激だった。
とんび わあ、いいなあ。
りつきー 本当ありがとうございます。
まあむ いえいえ、よろこんでもらえてよかったです。
りつきー 思ったより安定感あるっていうか。
まあむ あ、そうなんですよね。浮いてる筈に乗るっていうよりは、魔法で一緒に飛んでるので。
りつきー そうなんですネ。
えるぎ 寝てる人とかでも運べるよね。
まあむ そうですね。
とんび 例えば、誰かが急に酔いつぶれても、運べるよね。
まあむ そうですね。大丈夫ですね。
りつきー へえ、便利ですね。
まあむ そうですね。
りつきー 本当に今日はありがとうございます。
まあむ こちらこそ、ごちそうさまでした。
えるぎ じゃあ、ぼちぼちいきましようか。
まあむ そうですね。
とんび あ、じゃあ、ぼくここで。
えるぎ え。
とんび 自転車あつちにおいでるんで。

えるぎ
まあむ
りつきー
とんぴ
自転車なの？
あ、じゃあおつかれさまでした。
とんぴくん、今度別でお礼させて。
いいですつて。

えるぎ、慌てて、雨をふらせる。

とんぴ
まあむ
えるぎ
あれ？
あ、え、これ結構
あ、とりあえず、あつちに。

→人、あまやどり。

まあむ
とんぴ
えるぎ
とんぴ
えるぎ
とんぴ
リッキー
まあむ
りつきー
急に来ましたね。
そうですね。
自転車、置いていったほうがいいかもね。
ですね。
わたし、酔っちゃったかも。
え、大丈夫ですか。
大丈夫ですか。送りましょうか。
え、あ、うん。大丈夫。
やみますかねー。
そうですねー。

えるぎ、後ろから、リッキーに魔法をかける。

とんぴ
あれ、ぼくも急に酔いが回って……。

とんぴ、倒れる。

えるぎ
りつきー
まあむ
とんぴ
りつきー
とんぴ
まあむ
えるぎ
えええええ？
あれ？とんぴくん？
大丈夫ですか？
だいじょうぶだいじょうぶ……。
え、そんなに飲んだ？
ちよつとやすめば。
わたし、ほうきで送っていきましようか。
え。

とんび

ほうきで？

まあむ

はい。

とんび

え、そんな、いいんですか。

まあむ

はい。大丈夫ですよ。

えるぎ

あ、でも、雨ふってるし。わたし、傘あるから。

まあむ

平気です。わたしバリアできるんで。

えるぎ

バリア。

まあむ

いきましようか。

とんび

ありがとうございます。

まあむ、とんび、去る。

えるぎ

……バリア。

残される、りつきーとえるぎ

目があう。

えるぎ

あ、はいります？

りつきー

はい。あの、きょうは、ありがとうございます。

えるぎ

あ、いえ、

りつきー

すごいたのしかったです。

えるぎ

あ、はい。わたしも。

りつきー

憧れの魔女のひとに会えて、本当にうれしかったです。

えるぎ

ああ、まあむちゃん。ね。

りつきー

あ、まあむさんも、そうなんですけど、でも、ぼくは、えるぎさんと、こう、

えるぎ

あえて、よかったです。

りつきー

え、あ、わたしは、そんな。元ですから。

えるぎ

ああ……。

りつきー

はい。

えるぎ

……。

りつきー

でも、あの、元じゃないですよね。

えるぎ

え

りつきー

あ、いや。僕、みちやっただですよね。

えるぎ

え？

りつきー

いや！全然、そんな、見ようと思ってみたわけじゃないんですけど、みえちゃ

えるぎ

っただですよ。ごめんなさい。

えるぎ

なにが

りつきー 雨、降らせたじゃないですか。
えるぎ え。

りつきー 雨。

えるぎ そんな、ふらせてないですよ。

りつきー 降らせたじゃないですか。こう。

えるぎ ちがいますよ。わたしは、こう、こうただけで、そんな、もう魔法なんて

りつきー こうでした。えるぎさんは、「 のときも」 「 のときも」 「 のときも」 「

のときも、こう。これで、こう、これで、魔法をつかう、魔法使い、ですよね。

えるぎ え。

りつきー それで、今日も、こう、これで、雨が、ざーって。

えるぎ 「 のとき」

りつきー あのとき、ぼく、すごく、ファンでした。

えるぎ わたしの？

りつきー はい。

えるぎ ……。

りつきー

間近でえるぎさんの魔法を見ることが出来て、僕、すごく、嬉しかったです

あと、魔女ツコで、えるぎさんが、まだ、魔女ツコで、僕はすごく、うれし

りつきー かったです。すごく、すごく、

えるぎ ……。

えるぎ え。傘をはずして、

えるぎ えい。

天気が晴れる。りつきー、驚く。

えるぎ あの、わたし、内緒にしてるので、

りつきー あ、はい。

えるぎ だまってもらっても。

りつきー はい。それは、はい。ぼく、言わない人なんで。それは、大丈夫です。

えるぎ ありがとうございます。

りつきー そんな、ぼくこそ。

えるぎ いや、ほんとに、ありがとうございます。

りつきー、えるぎ、歩き始める。

りつきー

えるぎ あの、今日、これから魔女研究会っていうのがあって
魔女研究会？

りつきー 魔女の、ファンクラブみたいなもので
えるぎ ファンクラブ？

りつきー 通称マジヨ宅ってよばれてるんですけど

えるぎ あ、きいたことあります。

りつきー えるぎさんのファンのひともたくさんいますので。

えるぎ え。

りつきー よかったら、ご一緒に。

えるぎ え、いや、でも、わたし魔女だつて内緒にしてるので、

りつきー いや、でも僕言わない人なんです。

えるぎ はあ、じゃあ、まあちょっとだけなら。

りつきー こちらが！！30歳で魔女のえるぎさんです！！！！

そこは魔女宅会合。

えるぎと、りつきーと、マジヨ宅の人。

マジヨ宅たち超感激のリアクション

えるぎ え、い、いわないって

りつきー 大丈夫です。みんな言わない人なんです。ですよね。

マジヨ宅達 はい。

えるぎ えええええええ。

マジヨ宅たち、口々に、えるぎさんだ、えるぎさんだ、と。

マジヨ宅1 あの、えるぎさんは、30年間魔女を守られてきたって本当ですか

えるぎ ええ、ああ、(小声で) はい、はい。

マジヨ宅達 (感激のリアクション)

マジヨ宅1 感激です。

マジヨ宅3 魔女ツコの鑑ですね。

マジヨ宅4 30歳の魔女ツコなんて、超レアじゃないですか。

マジヨ宅5 激レアですね。

えるぎ え、あ、いや、

マジヨ宅2 あの、男性と、関係をもちたいっとは思わなかったんですか？

えるぎ え、あ、お、思ったこともあったんですけど。修行をしているうちに、そういう

う気持ちはなくなりました。

マジヨ宅達 (リアクション)

マジヨ宅3 えるぎさんは、これからも、魔女を貫いていくんですか

えるぎ もちろんです。わたしは、あの、魔女に誇りをもっているのです。

マジヨ宅達 (リアクション)

マジヨ宅4 でも、あれ、隠されてらっしゃいますよね。

えるぎ あ、の、あれは、掟で。

マジヨ宅達 掟。

えるぎ

20歳までは、修行の一貫として、(こう、見せていくっていうんですか？PRも含めて、魔女が世の中にいますよっていうPRも含めて、公開して、活動していくっていうことになってるんですけどね、
20歳すぎると、隠して、世間に身を隠して、魔法も見せびらかさないで、やっていくっていうのが、掟になっているんです。

マジヨ宅達 (リアクション)

マジヨ宅2 じゃあ、あの、本当は、20歳を過ぎて、魔女の方も沢山

えるぎ はい、たくさんいます。

魔女達 (リアクション)

マジヨ宅 新情報きましたね。

マジヨ宅5 レア、レア情報。

えるぎ あくまで秘密ですよ。秘密の話ですけどね。

マジヨ宅2 はい。ありがとうございます。

マジヨ宅3 でも、実際に辞めちゃう方も結構いらっしゃるんですよ。

えるぎ まあ、中には、そうですね途中で挫折っていうんでしょうか。辞めてしまわれ

る方、いらっしゃいますね。

マジヨ宅3 そうですよ。

マジヨ宅4 でもえるぎさんは

えるぎ 私は、魔女として、誇りをもっているのです。

マジヨ宅達 (感嘆の声)

りつきー あの、よければ、えるぎさんの魔法を、みんなに見せてあげてもらえませんか。

えるぎ え。

マジヨ宅達 (リアクション)

マジヨ宅3 あの、わたし、飛ぶところがみたいです。

マジヨ宅4 ああ、わたしも！

りつきー ああ、僕も、飛ぶところみたいです。えるぎさんが飛ぶの、凄く凄く好きだっ

たんです

えるぎ え、あ、でも

リッキー おねがいできませんか。

マジヨ宅3 ちよつとでいいんです。おねがいます。

マジヨ宅1 えるぎさん。

マジヨ宅2 えるぎさん。

マジヨ宅4 おねがいます

マジヨ宅5 おねがいます

えるぎ まあ、じゃあ、そのうち

拍手。

マジヨ宅2　じゃあ、来週でもいいですか。

えるぎ　来週？

マジヨ宅3　来週いいね。人数も集まるし。

マジヨ宅4　ね。

マジヨ宅1　メロンパンダさんも来るし。

えるぎ　メロンパンダさん？

マジヨ宅2　メロンパンダさんって、昔まじよっこと住んでたひとがいて

マジヨ宅3　え、てかメロンパンダさん今日来るんじゃない？

マジヨ宅4　え、そうだったけ。

そこにばんち。

マジヨ宅1　あ、メロンパンダさん。

りつきー　メロンパンダさん。こちら、30歳で現役魔女ツコのえるぎさん。

ばんち　えっちゃん。

えるぎ　ばんち。

シーン変わってばんちとえるぎ。居酒屋。

ばんち　……魔女ツコだったんだ。まだ。

えるぎ　まあ。え、てかマジヨ宅だったんだ。

ばんち　まあ。

店員がビールを持ってやってくる。

店員　はい、生ふたつ。

ばんち　じゃあとりあえず。おつかれさまー。

えるぎ　はーい。

二人、乾杯してビールを飲む。

ばんち　え、ずっと嘘ついてたってこと

えるぎ　そっちもじゃん。

ばんち
えるぎ
ばんち
えるぎ
ばんち
おくさん？

うん。まあ一緒住んでたのとかさ、気にしてっから。

あー、愛されてるね。

愛されていると言うか信用されていないというか

あー

まあ、昔俺がお前のこと好きだったの知ってるし。

え。

それで魔女宅とかしたらさ、もうさ。

あの。

っーかさ、お前、まだ処女ってこと？

まあ。

へえ。

なに。

いや。

なによ

ばんち
えるぎ
ばんち
うん。
いや、あの、昔さ、部屋きてさ、「魔女じゃなくなったんだ」っていったじゃ

うん。

あれはさ、

嘘。

嘘か。

嘘だね。

そっか。え、ずっと嘘ついてたってこと。

まあ。

なんで。

だから、まあ、掟で。

あ、そうか。

うん。ていうかさ、私のこと好きだったって。

な。

え、あの、

まあ、むかしな。

あー、うん。

っーか……あー、やっぱいいや。

えー、なになに。

ばんち
えるぎ
ばんち
いいいい。

えるぎ

だめだよ。なに。いや、なんかさ、すげーって思ったんだよ。俺、お前が、魔女じゃなくなった

ぱんち

えるぎ

っていったとき。なんで。すげえじゃん。なんか、ひとと違うもん背負っててさ、それを、あつさり手放

すっていの？そういうかんじがさ、なんかさ。

ぱんち

えるぎ

そうなんだ。

まあ、そうだな。そんなとき、結構ふらふらしてたから。

あの、ときだよ。音楽してた。

そうそうバンドとかな。才能なかったし、今思えば本気じゃなかったんだけど

ぱんち

えるぎ

な、でもお前見て、おれも、なんかだめだなんておもったし。それで、パンや、

継ごうっておもったし。

そうなんだ。

そうだな。

責任重大。

まあな。

嘘だったけど。

嘘だったけど。

ごめん。

まあ、言って欲しかったのは、あるけど、まあね。べつに。うん。

ごめん。

掟ならな、しょうがないもんな。

うん。

ずつとき、修行してきたんだろ。

いや、うん。

そっか。すげえな。

いや。

楽しみにしてるわ。えっちゃんが飛ぶの。

うん。

久々だしな。

うん。

うん。あー、あれだな。やっぱ、今日は、かえろうかな。

え。

なんか、ちよっと。

そっか。

うん。

うん。

うん。

先いくわ。

えるぎ
うん。
ばんち
明日な。
えるぎ
うん。あした。

ばんち去る。
えるぎ、電車が通っていくのを見送る。
そこはえるぎの部屋。

みかづき
えつちゃん。(小声)
えるぎ
え、
みかづき
えつちゃん。(小声)
えるぎ
え。
みかづき
ひとり？(小声)
えるぎ
え、うん。
みかづき
なんだー。かくれて損したじゃん。
えるぎ
かくれてって、え、隠れないでよ。
みかづき
だってとんびと帰ってきて、私居たら困るでしょ。
えるぎ
隠れてるとかもっと困るし。
みかづき
え、じゃあどうしろってのき。
えるぎ
外に居てよ。
みかづき
えー。
えるぎ
えーって。
みかづき
で、どうだったの？
えるぎ
え
みかづき
デート。
えるぎ
あー……ね。
みかづき
遅かったじゃん。
えるぎ
うん。
みかづき
公園？ラブホ？
えるぎ
あー、ごめん。
みかづき
ん？
えるぎ
失敗した。
みかづき
えー???
えるぎ
修行が足らんね。
みかづき
もー、あんなに練習したのに。
えるぎ
やっぱブランクあるからさ、だめだね。
みかづき
なんだー。
えるぎ
練習したんだけどな。

みかづき あ、ていうか、あれか。えっちしてたら、そもそもしゃべれないんだよね。
えるぎ そうだね。

みかづき ……てか、なに、その怪我。
えるぎ ちよつと、箒からおちてさ。

みかづき 箒？

えるぎ うん。……うーん、ていうか、色々あつてさ

みかづき うん。

えるぎ ぱんちにばれてさ。

みかづき うん？

えるぎ ぱんちにばれた。

みかづき ……そのながれでなんでぱんちが？

えるぎ 色々あつてさ。

みかづき え、で、ばれたつて、それは、

えるぎ 魔女が。

みかづき 魔女がばれたの？！

えるぎ うん。

みかづき え、え、大丈夫なの？

えるぎ うん。それは、うん。多分。言わないとはおもう。

みかづき そっか。よかった。

えるぎ よかったよね。

みかづき うん、まあぱんちとえっちするわけじゃなし。

えるぎ うん、だから、まあよかったんだけど。

みかづき なに。

えるぎ なんかぱんち、がっかりしててさ、

みかづき なにが。

えるぎ なんか、私のことで、

みかづき へえ、でもいいんじゃない。ぱんちでしょ。

えるぎ まあそうなんだけど。

みかづき 黙っててくれるんならさ。べつにさ。

えるぎ そうなんだけど。

みかづき なに。

えるぎ うん。

みかづき え、もうなに、えっちゃんはぱんちがすきな。ぱんちとえっちしたいわけ。

えるぎ んなわけじゃないじゃん。

みかづき じゃあいいじゃん。

えるぎ いや、そういう、そういう問題だけじゃないからさ。

みかづき じゃあどういいう問題なのさ。

えるぎ 魔女、さ。……魔女、ちゃんと捨てなきゃだよね。

みかづき だからそういつてんじゃん。
えるぎ そうだよね。
みかづき そうだよ。だから協力してんじゃん。
えるぎ そうだね。
みかづき そうだよ。
えるぎ がんばるわ。
みかづき よし。じゃあわたしもう寝るわ。
えるぎ え。
みかづき 昼がんびりすぎちゃって。
えるぎ あ、そう。
みかづき うん。あ、電話、しなよ。
えるぎ え。
みかづき とんび
えるぎ え、でももう。
みかづき ご馳走様はその日のうちにが基本でしょ。
えるぎ そうかな。
みかづき そうだよ。じゃあ、おやすみ。
えるぎ おやすみ。

みかづき、去る。
えるぎ、しばらくぼんやりして、携帯をみる。ため息。
そこは。パン屋。

まあむ おはよーございます。
えるぎ あ、おはよー。
まあむ きのうはおつかれさまでした。
えるぎ ああ。
まあむ なんか、おつかれですか？
えるぎ あー、うん。なんか、
まあむ 帰り、大丈夫でした？
えるぎ うん。てか、あれ？今日は、配達は？
まあむ あー、ちよっと、今日は、休ませてもらいました。
えるぎ そうなんだ。
まあむ やっぱりバリアが、ちよっと、きてて。あんまり今日とべなくて。
えるぎ あー
まあむ 駄目ですね。仕事なのに。
えるぎ なんかごめんね。
まあむ いやいや、全然。

えるぎ とんび、大丈夫だった？

まあむ はい。途中で大分元気になって。

えるぎ よかった。

まあむ 帰り、珈琲ごちそうになって

えるぎ そうなんだ。

まあむ おつきいおうちでびっくりしました。

えるぎ ああ、ね。お姉さんとか、あった？私の友達なんだけど。

まあむ あ、おうちの方、みんな出てたみたいで。

えるぎ え？？あ、じゃあ、ふたり、で、いえ、で

まあむ はい。でもわたし、わすれものしちやつて。

えるぎ え。

まあむ この後会うんですよ。

えるぎ とんびと

まあむ はい。

えるぎ そっか。

まあむ はい。

えるぎ ……え？

まあむ え？

えるぎ あ、いや、あの、あのさ、

まあむ はい

えるぎ 配達休むの、本当に今日だけ？

まあむ え。

えるぎ 卒業、魔女卒業してたりして、とか

まあむ あ、えー、してないですよ。

えるぎ ほんとに

まあむ ほんとですって

えるぎ ほんとに？

まあむ いや、

まあむ、ポルターガイストを起こす。

まあむ です。

えるぎ そっか。

まあむ ていうか、わたし、多分しないとおもうんですよね、卒業。

えるぎ え、

まあむ はい。

えるぎ なんです。

まあむ えー、だって、こわいじゃないですか。いまさら、かわるの。

えるぎ

いや、でも

まあむ

使いたいじゃないですか。魔法。

えるぎ

まあ、そうかもしれないけど、でも、

まあむ

自信ないですよ。恋愛とか。怖いし。でも魔法は、自信あるっていうか。

えるぎ

まあこれしかないし。はずかしい、ですけどね、人から見たら、あれですけど

まあむ

ね、でもまあ、自分にとっては、それでいいかなっていうか。

えるぎ

そっか。

まあむ

はい。あ、じゃあ、お先に。

まあむ、去る。

携帯鳴る。えるぎ、携帯をみる。

えるぎ

なんだ。

取る。

えるぎ

もしも？うん。いま中はいつてる。あすなるは？あ

そこはカフェ。あすなる発見。

あすなる

おつかれ。

えるぎ

おつかれ。

あすなる

ごめんね。よびだして。

えるぎ

ううん。で、なに、どうしたの。

あすなる

まあ、報告があつてさ。

えるぎ

え、なに、まさか？まさかの？

あすなる

うん。

えるぎ

え。

あすなる

かれしが、できました。

えるぎ

うわー。えー、おめでとう。

あすなる

ありがとう。

えるぎ

え、年上の？

あすなる

うん。

えるぎ

いーなあ。

あすなる

ていうかさ、知ってる人なんだよね。

えるぎ

え？

あすなる

このまえあつたつて。

えるぎ

え？

あすなる とんびの先輩でさ。
えるぎ え。あ、えええ？？あの、あれ？え、りつきーさん？
あすなる そうそう。
えるぎ え、そうなの？ええ、そうなんだ。
あすなる うん。
えるぎ へー。え、あ、へー。
あすなる うん。てかぶつちやけさ、かつこよくはないじゃん。
えるぎ あー。
あすなる うん。で、あんなかんじだからさ、ちよっと、恥ずかしいんだけど。
えるぎ いやいや。
あすなる いやいやいや、でも、優しいんだよね。
えるぎ ……うん。
あすなる なんか、わかってくれるっていうか。わかってくれようとするっていうか。
えるぎ うん。
あすなる 私の絵とか、昔のやつもチェックしてくれてさ、このまえも展覧会きてくれて、なんていうのかな、宝物みたいだね、話してくれるんだよね。そういうのがさ、なんかさ、
えるぎ いいよね。そういうの。
あすなる うん。
えるぎ 幸せに、してくれそうっていうか。
あすなる うん。
えるぎ おめでとう。
あすなる ありがと。ていうかさ、びっくりしたんだけど。4人で遊びにいったって。
えるぎ ああ。
あすなる 実際さ、とんびとはなんもないの。
えるぎ え、なんで。
あすなる なんか、あいつ、えるぎのこと気にしてたみたいだからさ。
えるぎ え。
あすなる 彼氏とか沢山いるよっていったら凹んでて、
えるぎ え？？
あすなる なんもないならいいんだけどさ。あんまり、勘違いさせないであげてね。あいつあれで、うぶだからさ。
えるぎ いや、あの、
あすなる あ、珈琲かってくるね。
えるぎ あの、
あすなる え。
えるぎ ううん。

あすなる、去る。

アナウンス ♪ 番線、電車が参ります。開くドアにご注意ください。

電車がやってくる。

みんな、電車に乗り込んでいく。

アナウンス ドアが

えるぎ ドアが

アナウンス ドアが、閉まります。

電車のドアが閉まっていく

えるぎ ドアが、しまっていくんだけど

アナウンス 電車が、通過いたします。ご注意ください。

えるぎ なんか、うごけないっていうか。

アナウンス 駆け込み乗車にご注意ください。

えるぎ 荷物が重たくて、かけこめないっていうか。

みかづき ふうん。

アナウンス 発車いたします。ご注意ください。

えるぎ どうせ閉まっちゃうしなっておもっちゃうのかな。

みかづき わかんないけど、もう電話しないってこと。

えるぎ そういうわけじゃないけど。なんか。

みかづき ……てか、また怪我ふえてない。

えるぎ うん。

みかづき 箒？

えるぎ うん。でも大分カンがもどってきてき。

みかづき うん。でも、魔女卒業するんですよ。

えるぎ うん。でもさ、

みかづき なにさ

えるぎ ほめられてさ。

みかづき うん？

えるぎ　もうずっと、褒められたりしてなかったからさ
みかづき　うん。
えるぎ　うれしくて。
みかづき　ふうん。
えるぎ　ていうか思い起こせば、魔法以外で褒められたりしたことないからさ、
うん。
大人になるとき、誰にも褒めてもらえなくなるからさ
うん。
うん。あ
みかづき　ん
えるぎ　だからセックスするのかな。
みかづき　そうなの？
えるぎ　わかんない。
みかづき　でもさ、もしそうだったらさ、えっちゃん結構たいへんじゃん。
えるぎ　え。
みかづき　褒められないし、セックスもしないし、のでき、ずっときてるわけじゃん。
えるぎ　だね。
みかづき　褒められたいのか。
えるぎ　あー、褒められたいね。ほめられて、ちやほやされて、すごいすごいっていわれたい。
みかづき　そっか。
えるぎ　うん、でも、もう30だから。
みかづき　うん。
えるぎ　ほめられないんだよね、魔女。もう。普通は。
みかづき　だね。
えるぎ　いつまでも魔女ツコでいるわけにもいかないし、
みかづき　うん。
えるぎ　わかってるんだよ。わかってるんだけどさ、まあでもだから、余計についてうか。ぱーっと飛んでさ、わーってなりたい、みたいな気持ちがあつてさ
みかづき　うん。でもさ。
えるぎ　うん。でもさ。
みかづき　……。
えるぎ　すごいよね。みんな。ちゃんと進んでるっていうか。わたし、なんか、ずっと同じ場所にいる気がする。
みかづき　そうだね。
えるぎ　そうだよね。
みかづき　え、どうしたいの。
えるぎ　すすみたい。

みかづき じゃあさ
えるぎ うん。……とりあえず、電話する。
みかづき うん。

えるぎ、携帯をとりだす。と、電話が鳴る、着信はとんび。

えるぎ あ。え???とんび。
みかづき え。

えるぎ、電話をとる。

えるぎ もしもし。
とんび あ、今大丈夫ですか。
えるぎ うん。あ、あの、このまえは、ごちそうさま。
とんび ああ、いや、ご馳走したの僕じゃないんで。ていうか、すみませんでした。泥酔しちゃって。
えるぎ あ、いや。
とんび そんなに酒弱くないつもりだったんですけどね。
えるぎ あー、うん。え、なに、どうしたの。
とんび あの、ちよつと聞きたいことがあって。
えるぎ あ、うん。なに。
とんび できれば、直接。
えるぎ え。あ、うん。
とんび 明日とか、会えたりしますか。
えるぎ 明日……。うん。
とんび じゃあ、えつと、どうしましょうか。
えるぎ あの。
とんび はい。
えるぎ うちに、きてもらってもいい?
とんび え。
えるぎ ……だめ、かな。
とんび 大丈夫、ですけど。
えるぎ 本当、、じゃあ、どうしようかな。
とんび 住所、送ってください。調べていくので。
えるぎ うん。わかった。じゃあ、明日。
とんび はい。明日。

電話切る。

みかづき みんなに報告してくるわ。
えるぎ えー。
みかづき じゃあ。

みかづき、去る。
えるぎ、電話をかける。

えるぎ もしもし？

シーン変わって

みかづき つてわけで、いよいよ卒業ってかんじですよ。
まんげつ へえ。
しんげつ いよいよか。

でもいざとなるとさみしくない？もうしやべれないの。

まんげつ ー、まあ、普通そういうもんだしね。

しんげつ いや、でも普通そうだからさみしくないってわけじゃないじゃん。

みかづき あー、まあそうだけど

まんげつ 言い残したことかない？

みかづき えー、ないよ。いざとなるとないよ、逆に。

しんげつ そういうもんかね。

みかづき そういうもんだよ。

まんげつ あ、でも、友達のはなしなんだけどさ、

みかづき うん。

まんげつ そのコも魔女ツコの猫だったんだけど

みかづき うん。

まんげつ 最近油断してたら急にしやべれなくなって、結構ショックうけてたんだよね。

みかづき そうなんだ。

まんげつ うん。だから、やっぱなんか、悔いのないようにした方がいいって

しんげつ お、正論。

まんげつ でしょ。

しんげつ ひゅー☆

みかづき そうだね。

シーン変わって

りつきーとばんちに。

えるぎ　　ごめんなさい。

ぱんち・りつきー　ええええええええええええ

ぱんち　　でもだって、明日だよ

えるぎ　　うんごめん。

りつきー　　みんな楽しみにしてるのに

えるぎ　　そうだよね。

ぱんち　　そうだよ。それなりに盛り上がっちゃってるからさ、え、なに、どうしたの

えるぎ　　あの、やっぱり掟で

ぱんち、りつきー　　あー

えるぎ　　ばれちゃって、怒られちゃって。

りつきー　　そうですか。

ぱんち　　まあ掟じゃな

りつきー　　そうですね

えるぎ　　ごめんなさい。

りつきー　　いえ。

ぱんち　　でもなあ。

りつきー　　みんながっかりしますよね。

えるぎ　　だよね。

ぱんち　　まあむちゃんに頼んでみるか。

りつきー　　ああ。そうですよね。ぱんちさんのところで、働いてらっしゃるんですもんね。

ぱんち　　そうなんですよね。だからまあ逆に、頼みづらいつて言うか、魔女研究会のこ

ととか、はなしてないんで、結構アレな所はあるんですけど

あー、あ、じゃあ僕から頼みましょうか。

え

りつきー　　この前お会いしたんですよ。

ぱんち　　そうなんですか？

りつきー　　はい。箒にもお世話してもらって、感激しました。

ぱんち　　そうなんですか。え、いいなあ。

りつきー　　バリアつかうところもみせてもらって。ね。(えるぎに)

えるぎ　　あ、うん。

ぱんち　　まじで？すげえな。

りつきー　　じゃあ、僕きいてみるんで、

あ、はい。たすかります。ちよつと気まずいんで、僕明日いらないかもしれ

ないんですけど

りつきー　　あ、わかりました。じゃあそれまでの段取りはつけてもらっていいですか。

ぱんち　　あ、はい、それは、大丈夫です。

えるぎ　　あの、ほんとごめんね。

ぱんち　　まあ、大丈夫大丈夫。

りつきー
ばんち
えるぎ

じゃ、えるぎさん。いきましようか。
はい。じゃあ、えっちゃん、また
うん。

えるぎのへや。えるぎ、しょんぼりしてる。

みかづき

緊張してる？

えるぎ

うーん。うん。

みかづき

うまくいったらさ、最後になるね。はなすの。

えるぎ

そうだね。

みかづき

って、こういうのもさ、言い過ぎてさ、もうはなすことないんだけどさ

えるぎ

だね。

みかづき

ちよつときみしいね。

えるぎ

うん。まあ、普通はしゃべれないだし。

みかづき

うん。でも、普通そうだからってさみしくないわけじゃないじゃん。

えるぎ

そうだね。

みかづき

長い間、きちゃったし。

えるぎ

そうだね。はやいうちにね、しゃべれなくなるよていだったんだけど。

みかづき

ね。そしたらさ、そんな、そっかってかんじだったとおもうんだけど。

えるぎ

そうだね。

みかづき

ここまできちゃったからね。

えるぎ

うん。重たくなっちゃったな。

みかづき

なにが。

えるぎ

処女とか、魔法とか。

みかづき

ああ。

えるぎ

だから、こわいけど、すすまなきやね。

みかづき

うん。

えるぎ

前に、いかなきやね。

みかづき

まえてどっち。

えるぎ

わかんない。わかんないけど、でも多分、きめつけちゃうしかないじゃん。

みかづき

うん？

えるぎ

きめつけて、進んだ方を、前ってするしかないじゃん。

みかづき

そっか。

えるぎ

うん。

みかづき

……最初にさ、空とんだじゃん。

えるぎ

え

みかづき

あのときさ、感動した。

えるぎ

なに急に。

みかづき もうしゃべれなくなるから、それだけ言おうとおもって。
えるぎ えー。

みかづき えっちゃんと色々出来て良かったよ。

えるぎ わたしも、みーちゃんが一緒に良かった。

みかづき えっちゃんがさ、がんばってきたのは知ってるからさ。

えるぎ うん？

みかづき しゃべれなくなるから、これから、わかんないかもしれないけどさ、これから、

誰にもほめてもらえなくてもさ、私は褒めてあげるからね。

えるぎ どうやって。

みかづき ゴロゴロしてしたら、よしよし、だとおもってね。

えるぎ よしよして。

みかづき あとさ、

チャイムが鳴る。

えるぎ はい。

えるぎ、そとに。

みかづき じゃあね。

みかづき、去る。

とんびとえるぎ。

えるぎ いらっしやい。

とんび おじゃまします。

えるぎ あれ？

とんび え。

えるぎ あ、猫がね、

とんび あ、飼ってましたよね。飼ってるっていうのかな。

えるぎ ルームシェア、してた。

とんび 面白いですね。その言い方。

えるぎ ここにきたときはさ、しゃべれたから。

とんび いいですね。猫としゃべれるって。想像つかないな。どんなかんじだったんですか。

えるぎ 楽しかったかな。

とんび へえ。じゃあ、しゃべれなくなったときは、

えるぎ わすれちゃった。

とんび　　そっか。
えるぎ　　それが普通だし。
とんび　　そうですよね。
えるぎ　　でも、淋しかったかな。
とんび　　ですよね。
えるぎ　　そのぶんね、がんばろうっておもったりした。
とんび　　あー
えるぎ　　魔法なくなるぶん、埋めなきゃな、みたいな。
とんび　　そっか。
えるぎ　　うん。

とんび・えるぎ　　あの

えるぎ　　あ、いいよ。
とんび　　あ、いや、
えるぎ　　とんびは、すきなひととか、いるの。
とんび　　え。

えるぎ　　今。
とんび　　僕、えるぎさんに憧れて、整備士になって、みたいな話したじゃないですか。
えるぎ　　うん。
とんび　　でも、多分それ、きれいごとだったんすよね。
えるぎ　　……。

とんび　　憧れとかじゃないんすよね。やっぱり、うらやましいモノはうらやましいし、
えるぎ　　欲しいもんは欲しいっていうか。
とんび　　欲しいって。
えるぎ　　……。

とんび　　……。
えるぎ　　でも、正直わかんないんすよね。こういうの、飛びたいって気持ちの、延長
とんび　　線にある気がして。好きっていうか、そういうふうになりたくて、なれなかつ
えるぎ　　たかわりに、みたいなかんじもして。
とんび　　でもわたしも、そういうのわかるよ。とんびみたいになりたかったなって、思
えるぎ　　う。

とんび　　え。
えるぎ　　だから、色々きめていかなきゃなって。選んで進んで行かなきゃなって。前つ
とんび　　てきめて、いかなきゃなって。
えるぎ　　ぼくはそんな。
とんび　　あのさ。
えるぎ　　はい。

えるぎ ききたいことって、なに。

とんび あー…、あの、

えるぎ ……うん。

とんび 僕、

えるぎ ……うん

とんび まあむさんと

えるぎ ん？

とんび やっちゃったんですけど、

えるぎ やっちゃった？？

とんび えるぎさんは、

えるぎ ちよつと、ちよつとまってね、え、まあむちゃんと

とんび はい。

えるぎ え？？いつ？

とんび あの、このまえ、ちよつと会ったんですよ。忘れ物渡しに。

えるぎ ああ。

とんび それで、ちよつと飲んで、

えるぎ うん。

とんび 僕、そんなにお酒弱い方じゃなかったんですけど、なんかあの、みんな飲んで飲んだじゃないですか、あの日からめっちゃお酒弱くなって、その日もなんか、泥酔しちゃって、

えるぎ それは、あ、う、あ、

とんび で、そのまま。

えるぎ あの、え、とんびはさ、まあむちゃんのこと、好きなの？？

とんび どうなんですかね。ただの憧れみたいなものだけじゃないってことは、分かったんですけどね。

えるぎ つきあうの？

とんび そうしたほうがいいんですかね。なんか、ちよつとどうしていいかわかんなくて。自分の気持ちもやもやしてるんですけど、魔法無くなるとかも、想像つかないし。まあむさんの気持ちもよくわかんなくて。それで、相談したくて。そう。

えるぎ あの、えるぎさんって、なんで魔女やめたんですか。

とんび え？

とんび 女性にこういうこと聞くのは本当にアレだとはおもうんですけど、でも、こんなこと、えるぎさんにしか相談できなくて。

えるぎ ああ。

とんび はい。

えるぎ まあ、そのときは、好きな人ができて、

とんび はい。

えるぎ
とんび
自然な流れでうちに送ってくれて、
はい。

えるぎ
とんび
それで、相合い傘して、帰って、そのまま。
その人のこと、好きでした？

えるぎ
とんび
……：すごく。
そっか。え、で、そのひとは。

えるぎ
とんび
向こうに、好きな人ができて、
え。

えるぎ
とんび
だめに、なった。
それ、シヨックですね。

えるぎ
とんび
シヨックだった。
あの、後悔しませんでした？そのひとと、そうなって、魔女じゃなくなったこ
と。

えるぎ
とんび
後悔は、しなかった。うん。進みたかったし。ちゃんと踏ん切りつけたかった
し。すきだったし。魔女でいるの、すごく、つらかったし。

えるぎ
とんび
つらかったんですか。
つらかったよ。だつてほら、ずっと魔女つてわけには、いかないからさ。いか
ないっていうか、いやじゃん。だれとも、ねえ？さわったり、触られたりしな
いで、ずっとずっと生きていくって。さみしいじゃん。怖いし。

えるぎ
とんび
そうですね。
うん。なのに、全然そんな機会なくて、そうこうしてるうちに、きがつけば、
手放すの、怖くなってるし、でも、手放せないのもこわいし。身動きとれなく
て。くるしかったから。

えるぎ
とんび
じゃあもう今は全然、ないんですか、未練とか。魔法に。
どうかな。

えるぎ
とんび
空とびたいなとか、猫と話したいなとか。
それは、思う、かな。すこしね。

えるぎ
とんび
ですよね。
そうですね。

えるぎ
とんび
そうだね。
たのしそうでしたもん。

えるぎ
とんび
楽しかったよね。とんびに言われて思い出した。大変だったし、嫌なことも
沢山あったけど、でも、あのときのわたしは、わたしのこと好きだったな。

えるぎ
とんび
すこいっておもってたんですもんね。
え。

えるぎ
とんび
世界ってすこいって、わたしってすこいって。
うん。

えるぎ
とんび
まあむさんもそうだったんですかね。
え。

とんぴ わたしってすごいって。
えるぎ あー、ね。

とんぴ それなのに、飛べなくさせちゃって。
えるぎ ……。

とんぴ 今、どういう気持ちなんですかね。
えるぎ うん。

とんぴ あー、ホント僕どうしたらいいんすかね。
えるぎ ……まあでも、大丈夫じゃない？

とんぴ いや、大丈夫じゃないでしょう。
えるぎ 大丈夫だよ。

とんぴ 大丈夫じゃないですよ。
えるぎ 大丈夫だよ。だって、わたし、うらやましいし。

とんぴ え
えるぎ 20歳でとべなくなるの。20歳でとんぴとえっちしてとべなくなるの。わたし
だってそうしたかったし。

とんぴ え。
えるぎ わたしだって、とんぴとえっちして、飛べなくなりましたかったし。

とんぴ えるぎさん？
えるぎ まあむちゃんがどう思ってるかわかんないけど、私は交換したいくらいだし。

とんぴ あの、
えるぎ 20歳でとべなくなるとか、30歳で処女で飛べるってことより、全然、大丈夫
でしょ。

とんぴ 30歳で………？
えるぎ わたし、………えい。

みかづき、出てくる。

みかづき え??あ、(えるぎにきづいて) にゃあ。
えるぎ にゃあって。

とんぴ あの、
みかづき え、(とんぴにきづいて) あ、本物?生とんぴ??

とんぴ 生とんぴ。
みかづき しゃべれるの?

とんぴ ね。
えるぎ 生とんぴ?

とんぴ 大丈夫だから。とんぴもまあむちゃんも、大丈夫だから。今日も大丈夫だから。
みかづき みてて。

とんぴ えっちゃん?

えるぎ

みーちゃん、いくよ。

えるぎ、外へ行く。

みかづき

え、あ、ちよっと。

みかづき、後を追う。

えるぎ声

のって。

みかづき声

え

えるぎ声

えい。

みかづき声

え、あ、ちよ、うわああああああ。

とんび、玄関から外を見て、空を見上げる。

とんび

うわー。(笑う) あー、今日も、大丈夫だわ。

空を飛んでるえるぎとみかづき。ちよっと危うい。

みかづき

うわああああ。えっちゃん、ちよっと、えっちゃん、

えるぎ

なに。

みかづき

どうしたのさ。

えるぎ

た。

みかづき

え。

えるぎ

ふられた。

みかづき

まじ？

えるぎ

まあむちちゃんとやってた。

みかづき

あちゃー。

えるぎ

だからまあ、箒に乗ろうと思って。

みかづき

え。

えるぎ

箒で空飛べるか、試してみようと思って。

みかづき

え？(危うい) あああああ。

えるぎ

あのときみたいにはとべないけど、でも、飛べてるし。

みかづき

飛べてるー？

えるぎ

誰かが褒めてくれなくても、今日は私が私のことを褒めてあげようと思って。

みかづき

えー？

えるぎ

あー、すごいぞ世界！すごいぞ私！

みかづき

ゴロゴロ。

えるぎ
なにかつき
なんでも。
ええ、ラジオつけて。
えー。
今手離したらマジで墜落するから。
もー。
みかづき

ルージュの伝言。もしくは優しさに包まれたなら。

みかづき
みんなみてるね。
え。ね。
捨てるの処女。
ね。
まあ、また機会はあるよ。
そうだね。
そうだよ。次行こう、しまっぺいこー！
うん。あー、
ん？
えっちしたい。
えるぎ

幕